E767Z704H50

MITSUBISHI

三菱蛍光灯器具

蛍光灯シャンデリア

形名　LKF5084EL
　　LKF5085EL

取扱説明書

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきましてありがとうございます。

お客さまへ

■ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくために
この取扱説明書を必ずお読みください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を ⚠警告 ⚠注意の表示で区分して、説明しています。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

■お客様自身で分解・改造はしない。火災・感電の原因
■異常時は電源スイッチを切る。（煙がでたり、変な臭いがしたら、すぐスイッチを切る）感電・火災の原因
■配線器具に欠け、割れ、木ねじのゆるみがある所に取付けない。
火災・落下の原因
■布や紙など燃えやすいもので覆ったりかぶせない。
火災の原因
■引火する危険のある雰囲気で使わない。
（可燃性スプレーを吹き掛けない）
火災の原因

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■高温(40℃)な場所で使わない。落下・感電・火災の原因
（器具の下でストーブなどを使わない。）
■調光器との併用はしない。破損・発煙の原因
■電気工事はしない。　有資格者に取付けを依頼　感電の原因
■傾斜天井に取付けない。
重量バランス不釣合により、落下・火災の原因

ランプ交換のしかた

⚠注意　電源を切ってください。　感電の原因になります。

<ランプの取外しかた>
(1)セードの下から手を入れてランプを反時計方向に回してソケットから外す。

<ランプの取付けかた>
(1)ランプをセードの下から入れて、ソケットにねじ込む。

⚠注意

■ランプのガラス、口金部分を強くねじらない。
ガラスの破損によりけがの原因
■器具表示の指定W（ワット）数を超えるランプは使用しない。
過熱して火災の原因
■ランプに塗料などを塗らない。
ランプが過熱、破損してけがの原因
■点灯中及び消灯直後のランプは触らない。
高温のためやけどの原因
■使用済みランプは不用意に割らない。
ガラスの破片が飛散してけがの原因

お手入れ

⚠注意　電源を切ってください。　感電の原因になります。

器具の汚れは、柔らかい布をぬるま湯か、うすめた中性洗剤につけ、よくしぼってから拭きとってください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯などは使用しないでください。
安全にご使用いただくために、半年に一回の保守・点検をおこなってください。

⚠ 警告　器具・ランプを水洗いしない。　感電・火災の原因

仕様

形　名	定格電圧	周波数	消費電力	適合ランプ	口　金
LKF5084EL	100V	50－60Hz 共通	48W	12Wルピカボールミニ　A形蛍光灯EFA12ELx4	E26
LKF5085EL	100V	50－60Hz 共通	60W	12Wルピカボールミニ　A形蛍光灯EFA12ELx5	E26

保証とアフターサービス

○修理・取扱いのご相談は、お買上げの販売店へお申しつけください。
転居や贈答品などでお買上げの販売店にご依頼できない場合は、別紙の「三菱電機　修理・ご相談窓口のご案内」で、
・修理のお問合わせは「修理窓口」へ
・その他のお問合わせは「ご相談窓口」へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
神奈川県鎌倉市大船２－１４－４０
ＴＥＬ（０４６７）４１－２７２６
（住宅照明営業課）

施工説明書

■電気工事には電気工事士の資格が必要です。

施工者さまへ

■施工の前に、この説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
■取付け工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を ⚠警告 ⚠注意の表示で区分して、説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

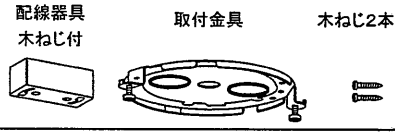
■施工に関しては、内線規定・電気設備の技術基準に従ってください。
■配線器具に欠け、割れ、木ねじのゆるみがある所に取付けない。火災・落下の原因

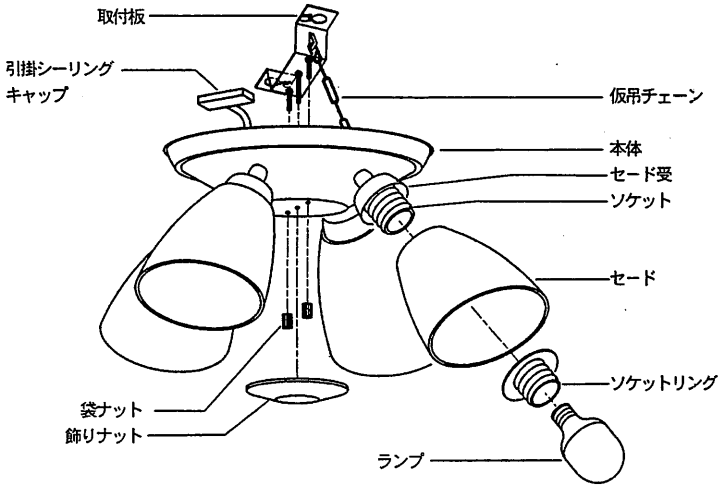
⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■次のような場所に取付けない。落下・感電・火災の原因
・高温(40℃)の場所　・強い振動、衝撃のある場所
■電源は交流１００Ｖ以外で使わない。火災の原因
■風呂場など、水や湿気の多い場所で使わない。火災・感電の原因
■傾斜天井に取付けない。
重量バランス不釣合により落下・火災の原因

各部のなまえ

附属品





（この図は共通化のため、一部省略、抽象化してあります。）

器具の取付けかた

天井に下図のような配線器具が付いているか確認してください。
付いていない場合、電気工事店に依頼してください。

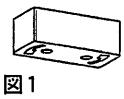


図1

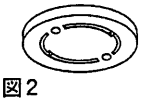


図2

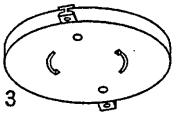


図3

配線器具が付いていない場合

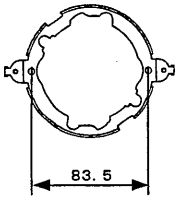
1．天井に配線器具を取付けます。（電気工事が必要です）

配線器具が付いている場合

2．すでに図１．２の配線器具が付いている場合は、附属の取付金具を附属の木ねじ２本で天井のしっかりと補強された部分に取付ける。

⚠注意

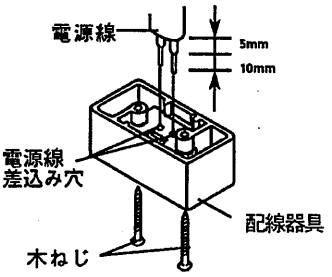
■板厚の薄い所や強度的に不十分な所に取付けない。
落下の原因
■器具取付面(クロス・コンクリート)が乾燥不十分の場所に取付けない。
絶縁不良や錆による
感電・落下の原因



電気工事

⚠注意　電源を切ってください。感電の原因

1．配線器具の電源線差込穴に電源線を確実に差込んでください。
2．附属の木ねじ２本で配線器具をしっかり天井に取付けてください。

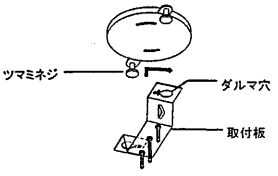


⚠警告

■板厚の薄い所や強度的に不十分な所に取付けない。
落下の原因
■指定太さの電源線を指定長さに被覆を剥がし、１本ずつ速結端子の奥まで差込む。
差込み不十分は接触不良により感電・火災の原因

適合電線は、単線φ１．６　２．０

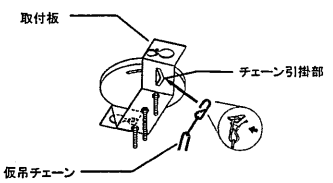
3．図３の配線器具が付いている場合は、附属のツマミねじだけを使用して取付けを行う。
■取付金具からツマミねじを外し、配線器具の耳に３回転ねじ込む。
■取付板のダルマ穴２ヶ所をツマミねじに合わせる。
■取付板を右方向に回転させる。
■確実にドライバーで締付ける。

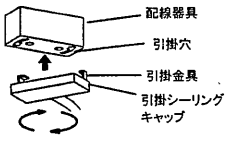


⚠注意

■ツマミねじは、確実に最後まで締め込む。

4．本体に付いている仮吊チェーンを取付板のチェーン引掛部に引掛け、ペンチ等で先端を曲げて器具を仮吊りする。
5．引掛シーリングキャップの引掛金具を配線器具の引掛穴に合わせ、右にひねる。
（電源に接続される。）
6．本体の穴を取付板のねじに通し、袋ナット２個で締付ける。
7．飾りナットを締付ける。





⚠注意

■本体取付けの際は、電源線を挟まない。
火災・感電の原因

セード・ランプの取付けかた

1．セードをセード受に合わせ、ソケットリングをソケットに締め込む。

⚠注意

■セードを真っ直ぐに締め込む。
斜め取付け、不完全な取付けは　落下の原因

2．ランプをセードの下から入れて、ソケットにねじ込む。